

年	氏名 (生-没年 国)	事 項
150 頃	Claudius Ptolemaeus (83 頃 -168 頃, アレキサンドリア)	「アルmagest」を作成
1338		足利尊氏が征夷大將軍に任ぜられ、京都に室町幕府を開く。
1487	Bartolomeu Dias (1450頃-1500, ポルトガル)	アフリカ南端 (喜望峰) を発見
1492	Christopher Columbus (1451 頃-1506, 伊, スペイン)	アメリカ大陸発見
1498	Vasco da Gama (1460 頃-1524, ポルトガル)	喜望峰を回るインド航路発見
1522	Ferdinand Magellan (1480-1521, ポルトガル, スペイン)	史上初の世界一周
1543	Nicolaus Copernicus (1473-1543, ポーランド)	「天体の回転について」死の直前に出版
1556	Georg Agricola (1494-1555, ドイツ)	「デ・レ・メタリカ」著述
1573		室町幕府の滅亡。信長が足利義昭を追放する。
1586	Simon Stevin (1548-1620, オランダ)	「つり合いの原理」でてこの原理, 斜面の法則を説明
1599	Tycho Brahe (1546-1601, デンマーク)	デンマークからプラハへ移り, ケプラーを助手として迎える。
1600		関ヶ原の戦い
1603		徳川家康が征夷大將軍となり、江戸幕府を開く。
1609	Johannes Kepler (1571-1630, ドイツ)	「新天文学」でケプラーの第一法則, 第二法則を発表
1619	Johannes Kepler	「宇宙の調和」でケプラーの第三法則を発表
1620	Francis Bacon (1561-1626, 英)	「ノヴム・オルガヌム」を著す。イギリス経験哲学の祖
1629	G. Branca (1571-1640, 伊)	衝動タービン
1632	Galileo Galilei (1564-1642, 伊)	「二つの主なる宇宙体系に関する対話」(天文対話) 刊行
1638	G. Galilei	「二つの新しい科学に関する対話」(新科学対話) 刊行
1640		イギリス市民革命始まる
1643	Evangelista Torricelli (1608-1647, 伊)	水銀による大気圧の確認実験
1644	Rene Descartes (1596-1650, 仏)	「哲学原理」を著す
1648	Blaise Pascal (1623-1662, 仏)	大気圧が高度により低下することを確認
1654	O. von Guericke (1602-1686, 独)	マグデブルクの半球実験
1656	Christiaan Huygens (1629-1695, オランダ)	振り時計を発明

1660	Robert Hooke (1635-1703, 英)	フックの法則を発見
1662	Robert Boyle (1627-1691, 英)	「空気の弾性と重さに関する教義のための弁護」を発表 ボイルの法則を説明
1679	Edme Mariotte (1620-1684, 仏)	ボイルの法則を再発見
1687	Isaac Newton (1642-1727, 英)	「自然哲学の数学的原理」(プリンキピア) 刊行
1689	Gottfried Wilhelm Leibniz (1646-1716, 独)	「惑星の運動についての試論」発表
1690	D. Papin (1647-1712, 仏)	大気圧蒸気機関の作動原理を記述
1700	Pierre Varignon (1654-1722, 仏)	「パリ科学アカデミー紀要」に一連の中心力論文を発表
1702	T. Savery (1650-1715, 英)	蒸気機関を考案
1703	Jacob Bernoulli (1654-1705, スイス)	「てこの本質から導き出された平行と振動中心の一般的証明」を発表。
1704	I. Newton	「光学」刊行
1707		スコットランドとイングランド合同し、グレートブリテン王国となる
1710	Jakob Hermann (1678-1733, スイス)	逆ニュートン問題の解を発表
1710	Johann Bernoulli (1667-1748, スイス)	同上
1712	Thomas Newcomen (1663-1729 英)	最初の蒸気機関の建設
1714		イギリス議会在経度法を成立
1724	Daniel Gabriel Fahrenheit (1686-1736, 独, オランダ)	華氏目盛。
1733	Daniel Bernoulli (1700-1782, スイス)	二重振子に関する論文
1734	Leonhard Euler (1707-1783, スイス)	「惑星の運動と軌道決定」で楕円軌道の極座標表示
1735	John Harrison (1693-1776, 英)	H-1 を完成 (翌年リスボンへ航海)
1736	L. Euler	「力学：解析学的に示された運動の科学」
1738	D. Bernoulli	「流体力学」を出版
1714	Anders Celsius (1701-1744, スウェーデン)	摂氏温度目盛。
1744	Pierre-Louis Moreau de Maupertuis (1698-1759, 仏)	「最小作用の原理」を提唱
1747	L. Euler	「天体の運動一般の研究」でケプラー問題を完結
1750	L. Euler	「力学の新しい原理の発見」 この頃「自然哲学序説」も起草
1751	Jean Le Rond D'Alembert -1772 (1717-1783, 仏)	「百科全書」全28巻をドゥニ・ディドロらと共に編纂
1752	Joseph Black (1728-1799, 英)	CO ₂ (固定空気)を発見
1757	J. Black	熱容量の概念, 融解・蒸発の潜熱の概念を導入
-1762		
1760	J. Harrison	H-4 を完成

1764	J. Harrison	H-5 を完成
1769	Jhams Watt (1736-1819, 英)	最初の蒸気機関の特許
1770	Nicolas-Joseph Cugnot (1725-1804, 仏)	蒸気砲車「ファルディエ」製作
1772-5	James Cook (1728-1779, 英)	クック 2 回目の南太平洋航海 (K-1 持参)
1774	J. Watt	蒸気機関の商業生産開始
1775 -1783		アメリカ独立戦争
1781	J. Watt	回転機関の特許
1782	J. Watt	複動式と膨張力利用方式
1787	J. A. C. Charles (1746-1823, 仏)	シャルルの法則
1787	A. L. Lavoisier (1743-1794, 仏)	「化学命名法」を著す
1788	J. Watt	遠心调速器
1788	Joseph-Louis Lagrange (1736-1813, 伊, 仏)	「解析力学」を著す
1789	A. L. Lavoisier	「化学要論」を著す
1789		フランス革命が勃発(バスティーユの襲撃)
1796	J. Watt	蒸気圧指示器
1798	G. von Rumford (1753-1814, 米国, 独)	砲身の中ぐり過程の考察より熱の運動説を主張
1799	Humphry Davy (1778-1829, 英)	時計仕掛けで氷を摩擦し融解する実験
1799		ナポレオン・ボナパルトが皇帝となる
1801	John Dalton (1766-1844, 英)	空気の体膨張率 325/1000(212-55)F
1802	Joseph Louis Gay-Lussac (1778-1850, 仏)	ゲイ・ルサックの実験。
1803	Richard Trevithick (1771-1833, 英)	最初の蒸気機関車を製作。
1807	Robert Fulton (1765-1815, 米)	ハドソン川で蒸気船の運行開始
1811	Amedeo Avogadro (1776-1856, 伊)	アボガドロの法則を発表
1814		ナポレオン敗北, 翌年復位失脚
1799- 1825	Pierre-Simon Laplace (1749-1827, 仏)	「天体力学概論」全 5 巻出版。1823 最終巻で解析的熱量学を展開。
1824	Nicolas Leonard Sadi Carnot (1796-1832, 仏)	「火の動力に関する一考察」
1825	George Stephenson (1781-1848, 英)	最初の鉄道ストックトン&ダーリントン鉄道を開通
1840	J. P. Joule (1818-1899, 英)	電流のジュールの法則
1842	J. R. von Mayer (1814-1878, 独)	気体熱膨張と熱の仕事当量

1847	J. P. Joule	ジュールの熱の仕事当量
1847	William Thomson (1824-1907, 英)	ジュールの実験に注目。
1848	W. Thomson	熱素説の絶対温度目盛
1851	R. J. E. Clausius & W. Thomson	Clausius と Kelvin によるエネルギー保存則
1852	J. P. Joule & W. Thomson	ジュールトムソン効果を発見
1854	W. Thomson	エネルギー説の絶対温度目盛
1859	Jean-Joseph Etienne Lenoir (1822-1900 ベルギー)	2行程サイクルガス機関を製作
1861	Nikolaus August Otto (1832-1891, 独)	2行程サイクルガス機関を製作
1865	Rudolf Julius Emmanuel Clausius (1822-1888, 独)	Clausius がエントロピを導入, 熱力学第2法則を定式化。
1866	James Clerk Maxwell (1831-1879, 英)	Maxwell が気体の速度分布則を示す。
1868		年号を明治と定める
1876	N. A. Otto	4行程サイクルガス機関を製作
1877	Ludwig Boltzmann (1844-1906, オーストリア)	エントロピの確率的解釈。
1885	Gottlieb Wilhelm Daimler (1834-1900, 独)	ガソリン機関を積んだ2輪車を製作
1885	Karl Friedrich Benz (1844-1929, 独)	ガソリン機関を積んだ3輪車を製作
1893	Rudolf Christian Karl Diesel (1858-1913, 独)	最初のディーゼル機関を製作